

は やま

羽山

校訓：敬愛・探究・勤労

教育目標：豊かな情操をもち、自立的に生きる生徒の育成

文責：柴田町立船迫中学校長 曾根 秀輝

悔しさを揺るぎない原動力に変えて中総体に臨む！

～新人大会の感想、今後の抱負(運動部副部長)～

9月26日(土)、27日(日)に柴田郡中体連新人大会が行われました。顧問の先生から対戦の様子を聞くと、どの先生からも、今もちうる限りの力を出し切りましたという話を受けました。団体戦の決勝では優勝まであとわずかであったという卓球部や、相手がとても強かった(高校生にも勝ってしまいそうな種目もありました)にも関わらず善戦したという部も多くありました。それだけ、今回の新人大会はレベルが高かったといえるでしょう。その中で、本校の1,2年生部員たちは「迫中プライド(最後まで粘り、集中し、仲間を信じ、自分を信じ、全力を出し切る)」をもって、勝敗にかかわらず、力を出しきり、達成感を味わったようです。特に、当日、大会が終わって学校へ戻ってきて結果報告をしたどの部の部長も、「今後は、対戦して見つけた課題を克服し、さらに力をつけ、強くなりたい。」と、今後を見据えて話していたのが、とても印象的でした。

それでは、各部の副部長(代理の生徒を含む)に新人大会の感想と、今後の抱負を書いてもらいましたのでご紹介します。

団体戦では2対3で惜しくも船岡中に負けてしまい、準優勝でした。船岡中には練習試合では勝っていたので、とても悔しかったです。個人戦では、自分でも驚きの3位でした。今後は中総体に向けて、チームのレベルを上げ、メンタル面を鍛え、中総体では団体戦で優勝したいです。

卓球副部長 加茂僚一さん

新人大会では一人一人目標を立て、その目標を達成するために、今まで練習した成果を発揮できました。今後は、今まで以上に練習に励み、活気と笑顔が溢れる部活動を目指していきたいです。

剣道副部長 佐々木百華さん

僕たちバスケ部は船岡中と対戦し、30対68で負けてしまいました。ただ、その試合で得るものも多く、今後の課題も多く見つけられました。1年生と2年生で協力し、課題を解決して良いチームづくりをしたいと思います。

バスケットボール副部長 鈴木一咲さん

新人大会では、川崎中、村田一中、大河原中と戦いました。各試合で一人一人の良さを発揮し、3位という結果を残すことができました。また、自分やチームの改善点も見つけることができました。今後は、その改善点を中心に練習に取り組み、部員全員で頑張っていきたいと思います。

バレーボール副部長 遠藤あかりさん

大河原中と対戦し、結果は負けてしまいました。しかし、私たち合同チームは、たくさんの目標や課題を見つけることができました。今後は、その目標や課題をクリアして、次の練習試合や中総体に向けて勝てるように頑張りたいです。

ソフトボール副部長 佐藤桃菜さん

対戦校は大河原中学校で、強敵でしたが、選手全員が最後まで粘り強く戦うことができました。結果は敗北という形で終わってしまい、今も悔しさが残っていますが、その悔しさを揺るぎない原動力に変えて、中総体に向けて頑張っていきたいです。

サッカー部 2年生 熊谷慶護さん

ソフトテニス個人戦のみでした。私は川崎中のペアと対戦し、3対1で勝つことができました。2試合目は村田一中のペアと対戦し、1対3で負けてしまいましたが、私は「最後まで絶対にあきらめない！」など、色々な目標を立てて相手と対戦し、目標を十分に達成できたと思います。2年生にとって最後の新人大会でペアで協力して全力を尽くすことができよかったです。これからは中総体に向けて一生懸命頑張っていきたいと思います。

ソフトテニス副部長 藤原光希さん

私たちは団体戦県大会出場という目標を叶えるために日々練習をしてきました。結果は大河原中に負けてしまい、県大会には出場できませんでしたが、今までよりも団結力が高まったと思います。個人戦では、皆が力を発揮できたと思います。今後は、できなかったところや、見つかった改善点について、練習して克服し、中総体では団体で県大会に出場できるように頑張りたいです。

バドミントン副部長 新妻朗奈さん

僕たちは大河原中学校と対戦し、0対9で負けてしまいました。2年生が主体となって頑張る練習を重ねてきましたが、悔しい結果となってしまいました。それでも楽しんで試合ができ、全力を尽くすことができました。来年の中総体では、個人、チームの技術を共に向上させ、よい試合ができるようにしたいです。

野球部 2年生 羽田朔人さん



【団体入賞：卓球・バドミントン・バレー】



【個人戦入賞：卓球・剣道・バドミントン】

船迫中学校『3V精神』：VISION(夢)

VICTORY(勝利) VITALITY(活力)